

ハウステンボス株式会社 第25期（平成26年9月期）第1四半期 決算について

ハウステンボス株式会社（本社：長崎県佐世保市）の第25期（平成26年9月期）第1四半期（平成25年10月―12月）決算は以下の通りとなりました。

【営業概況について】

前期に引き続き、お客様満足度の向上を企図した場内展開イベントや施設、店舗の拡充を図りつつ、業務効率の改善に努めました。

10月には「ガーデニングワールドカップ フラワーショー2013 in JAPAN」（10月12日―11月4日）、初登場の「世界一周植物園」（10月12日―11月17日）を、そして11月3日からは3D プロジェクションマッピングとイルミネーションが融合した新展開「TFM スーパーイルミネーションショー3D」と、光のスケートリンク「リンクファンタジア」を加え前年から更にバージョンした1000万球超のイルミネーション展開「光の王国」を開催。また大晦日には当日打ち上げる花火としては国内最多の花火が夜空を彩るカウントダウンイベントを実施しました。いずれもハウステンボスでしか体験できないオンリーワン・ナンバーワンの価値を持った取り組みを行ったことで前年同月に引き続き12月単月最多入場者数記録を更新する等昨年以上のお客様に秋から冬にかけてのハウステンボスをお楽しみいただきました。

更にハウステンボス初の場外展開イベント「大阪城3D マッピングスーパーイルミネーション」を12月14日より大阪城西の丸庭園にて開催（2月16日まで）。3D プロジェクションマッピング等、ハウステンボス「光の王国」で人気のコンテンツを凝縮した内容で開幕以降、連日多くのお客様で会場は賑わっております。

【業績について】

上記取組の結果、ハウステンボス入場者数は前年同期比13.1%増の748千人（86千人増）、宿泊者数は同13.0%増の769百人（88百人増）、取扱高は前年同期比28.3%増の7,083百万円（1,560百万円増）と大きく伸張しました。一方で業務効率の改善と経費削減努力により販売費及び一般管理費を同17.1%、457百万円の増加と必要最小限に留めたことにより営業利益は同69.1%増の2,286百万円（934百万円増）、経常利益は佐世保市からの再生支援交付金184百万円を加え同60.8%増の2,511百万円（949百万円増）となり増収増益となりました。

記

【 第25期第1四半期 業績について 】

- ・ ハウステンボス入場者数 748千人 (前年同期比 113.1% 86千人増)
 内 海外客数 468百人 (前年同期比 174.4% 199百人増)
- ・ 宿泊者数 769百人 (前年同期比 113.0% 88百人増)

*当該期間中における大阪城会場への入場者数は206千人(12月14日～12月31日)

・ 収支概要について

(単位:百万円)

	第24期第1四半期 2012.10～12月	第25期第1四半期 2013.10～12月	差異	前年比
取扱高	5,522	7,083	1,561	128.3%
売上原価	1,500	1,669	169	111.3%
売上総利益	4,022	5,413	1,391	134.6%
販売管理費	2,669	3,126	457	117.1%
営業利益	1,352	2,286	934	169.1%
経常利益	1,562	2,511	949	160.8%

・ 財産状況について

(単位:百万円)

		2013.9末	2013.12末			2013.9末	2013.12末
	流動資産	14,547	17,367		流動負債	2,830	4,511
	固定資産	7,441	7,830		固定負債	3,288	3,309
	繰延資産	0	0		純資産	15,870	17,378
資産合計		21,988	25,198	負債・純資産合計		21,988	25,198

【 第25期(平成25年10月～平成26年9月)通期見込数値について 】

- ・ 入場者数 297万人 (前期比 120%)
- ・ 宿泊者数 32万人 (前期比 116%)
- ・ 売上高(取扱高) 256億円 (前期比 118%)
- ・ 営業利益 64億円 (前期比 132%)
- ・ 経常利益 73億円 (前期比 127%)

*昨年12月16日付発表内容からの変更はございません。

以上

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》
 ハウステンボス株式会社 経営企画室 高田・中野裕子
 TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025
<http://www.huistenbosch.co.jp>